

議案第 5 3 号

義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）請負契約の締結について

次のとおり工事請負契約を締結することについて議決を求める。

- 1 工 事 名 義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）
- 2 施工箇所 白岡市岡泉地内
- 3 履行期限 令和 1 0 年 9 月 2 9 日
- 4 請負金額 2 7 7 , 1 6 7 , 0 0 0 円
（うち取引に係る消費税及び地方消費税額 2 5 , 1 9 7 , 0 0 0 円）
- 5 請負業者 埼玉県白岡市彦兵衛 1 2 8 番地 4
株式会社木下建設
代表取締役 木下 募

令和 8 年 7 月 2 3 日提出

白岡市長 藤井 栄一郎

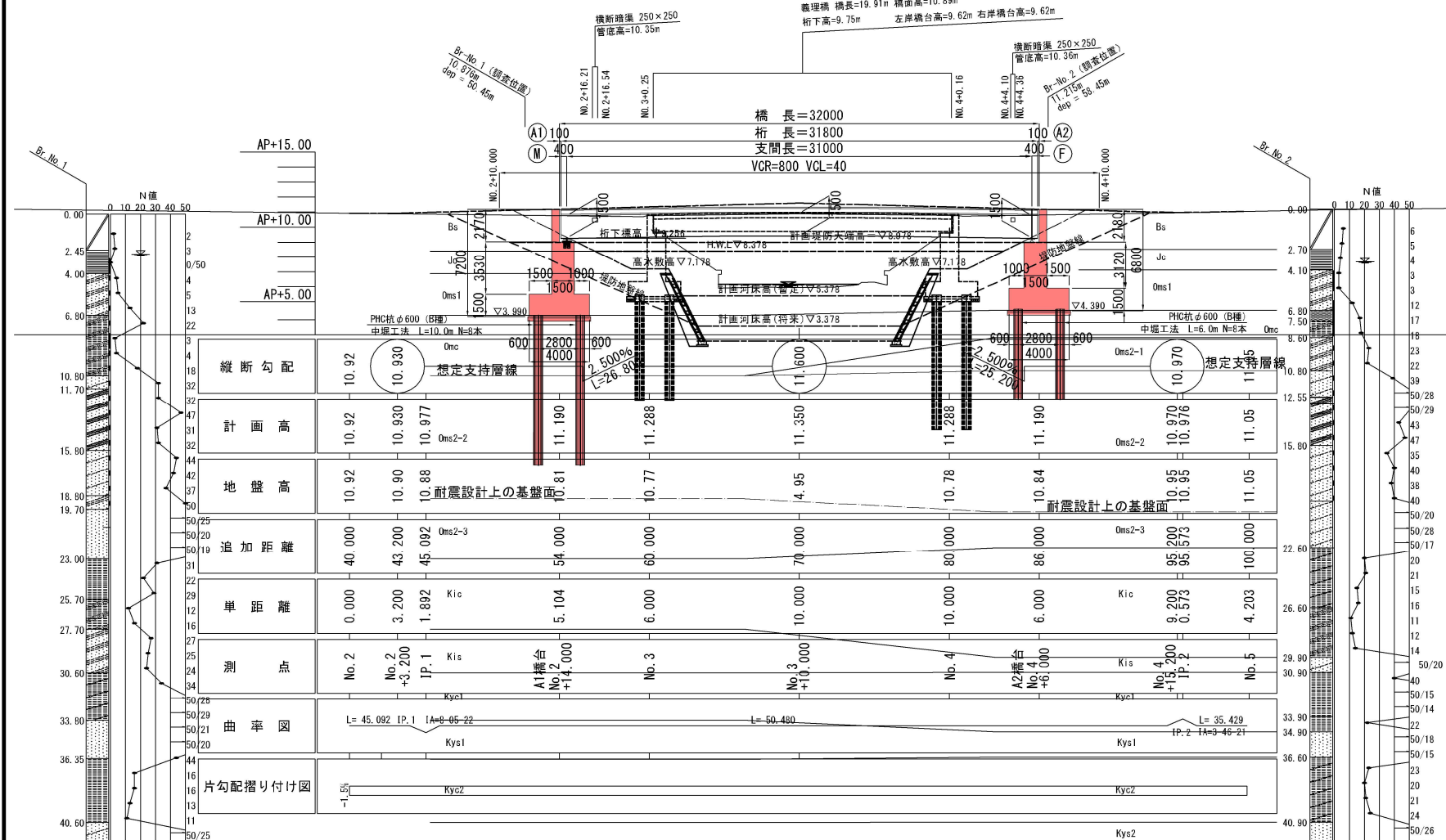
提 案 理 由

義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）の請負契約を締結したので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、この案を提出するものである。

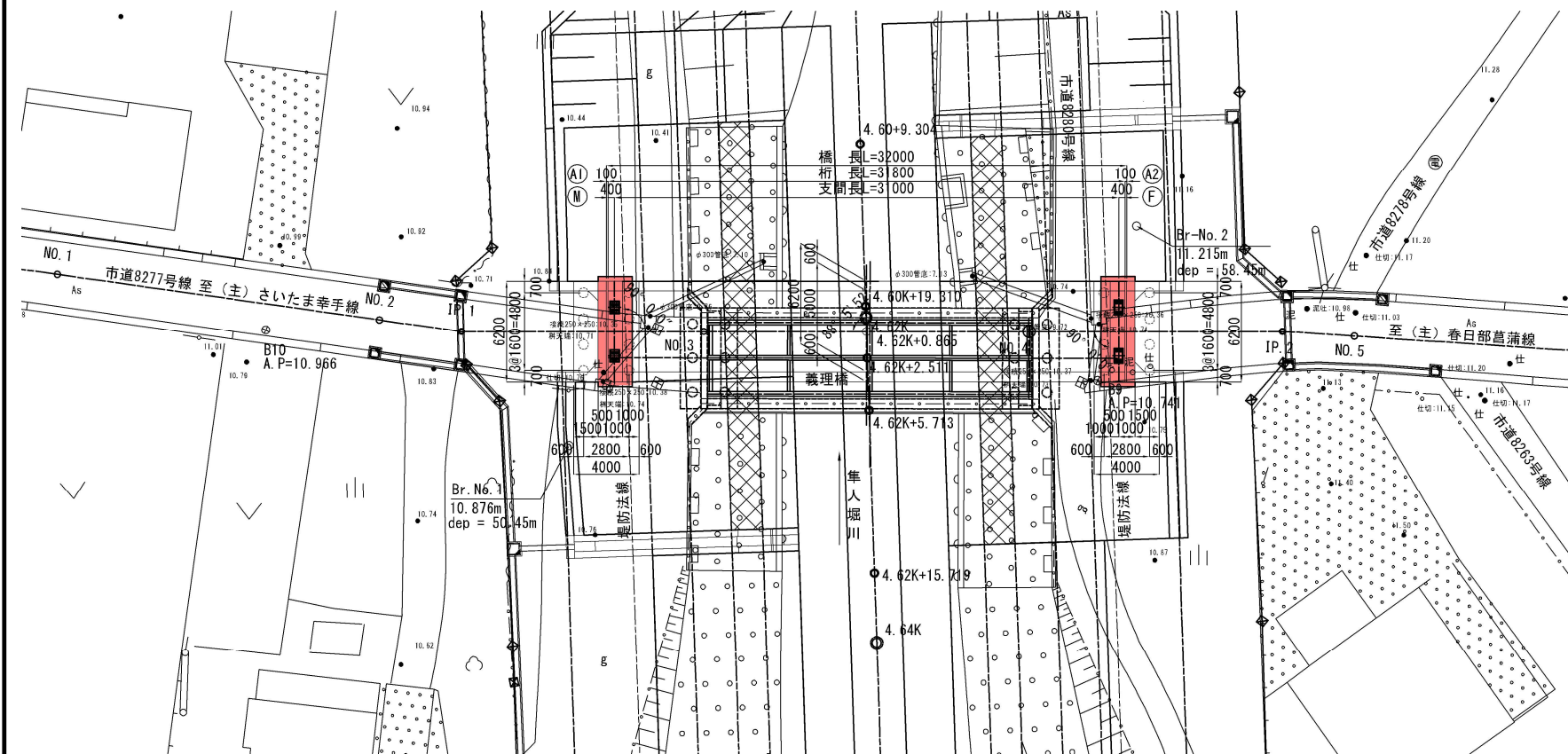
位置図



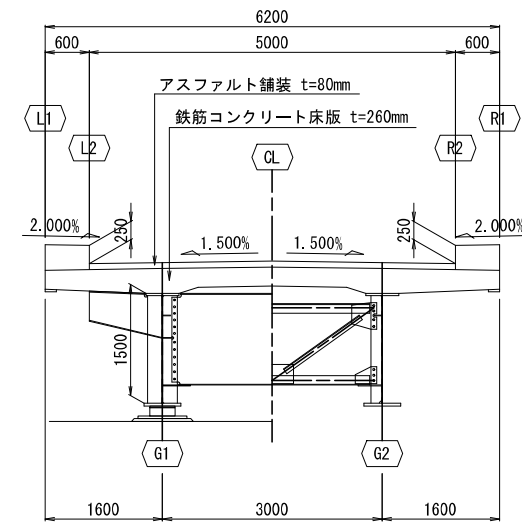
側面図 S=1:200 (1:400) 義理橋橋梁一般図



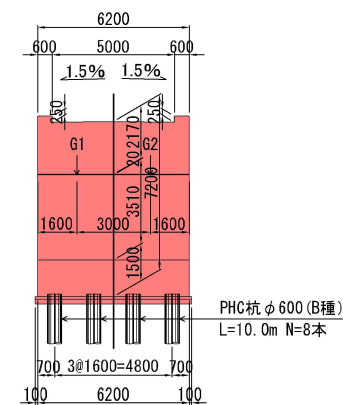
平面图 S=1:200 (1:400)



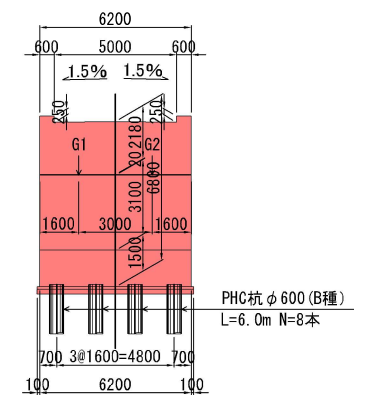
断面図 S=1:50 (1:100)



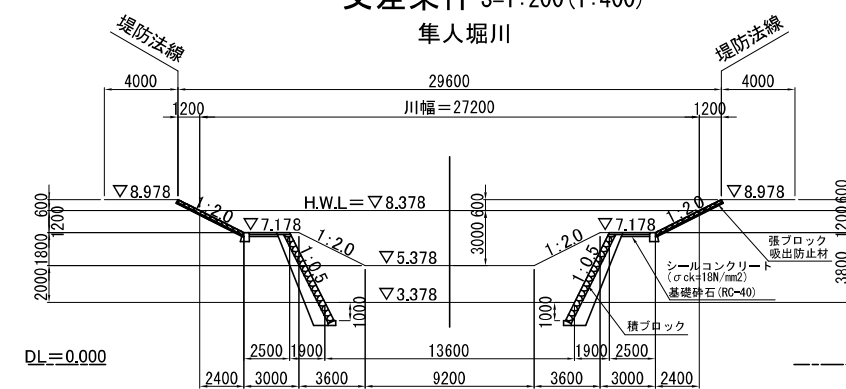
A1橋台 S=1:150 (1:300)



A2橋台 S=1:150(1:300)



交差条件 $S=1:200(1:400)$
隼人堀川



計画規模（将来）	1/10（1/100）
計画流量（暫定）	$Q=45\text{m}^3/\text{s}$
計画洪水流量（暫定）	$Q_s=48.3\text{m}^3/\text{s}$
計画流量（将来）	$Q=100\text{m}^3/\text{s}$
計画洪水流量（将来）	$Q_s=105.4\text{m}^3/\text{s}$
計画河床勾配	1/3000

注記 1)カッコ内の縮尺は、A3印刷時を表す。
2)注記なき標高はA.P.を表す。

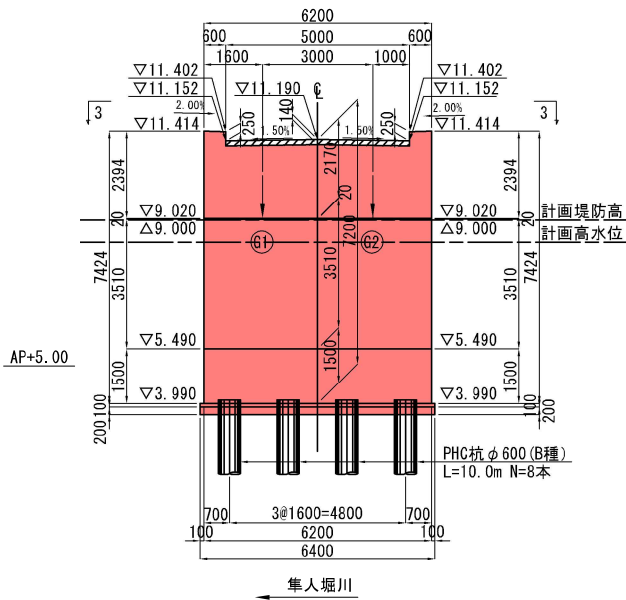
工 事 名	義理橋梁替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）		
路 線 名	河 川 名		
工事箇所	白岡市岡泉地内		
図 面 名	義理橋橋梁一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	

白岡市 都市整備部 道路課

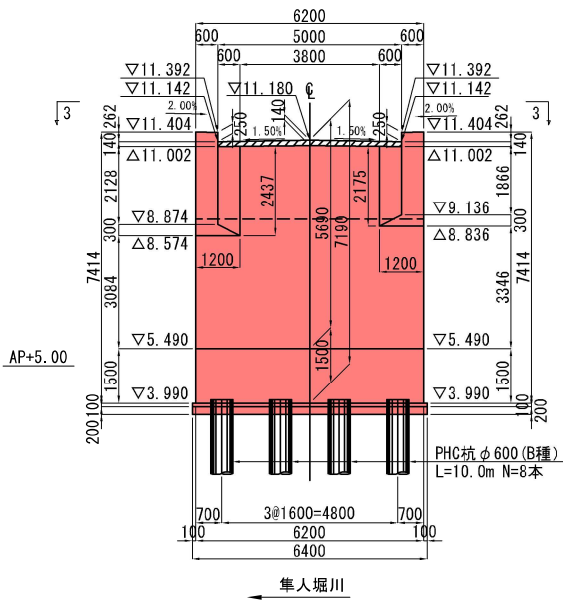
A1橋台構造一般図

S=1: 50
(S=1:100)

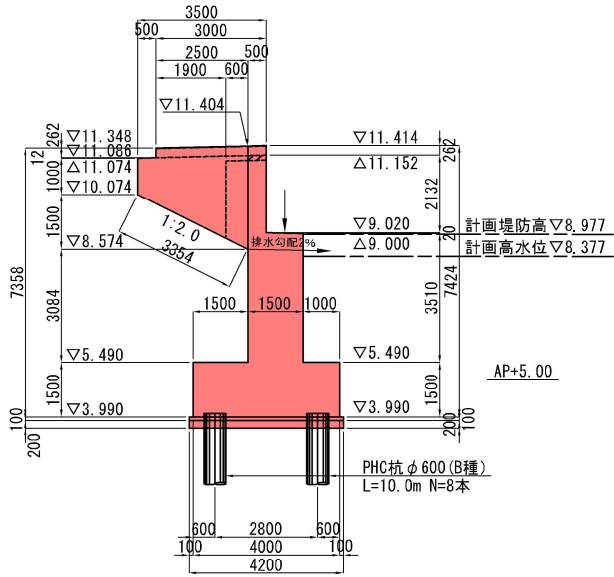
1-1 正面図



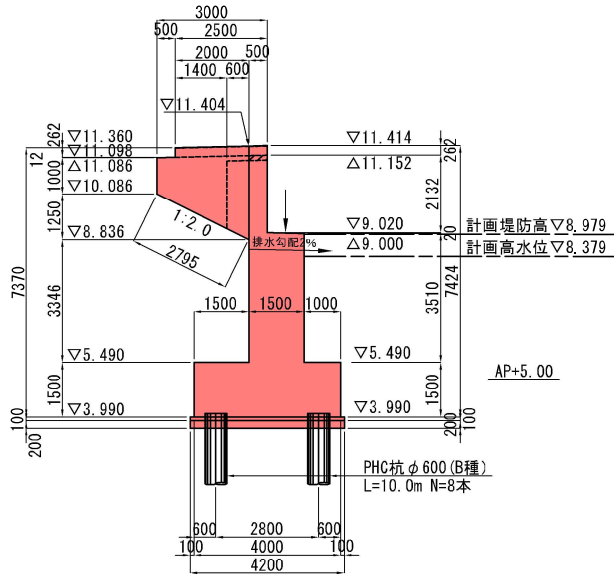
2-2 背面図



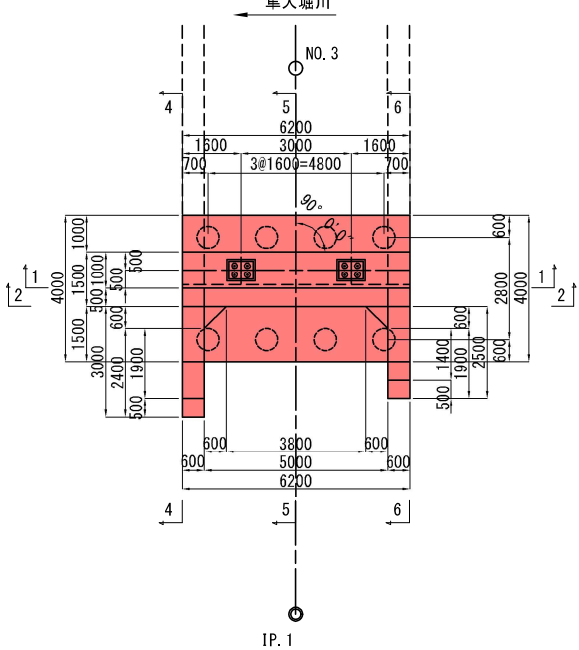
4-4 断面図



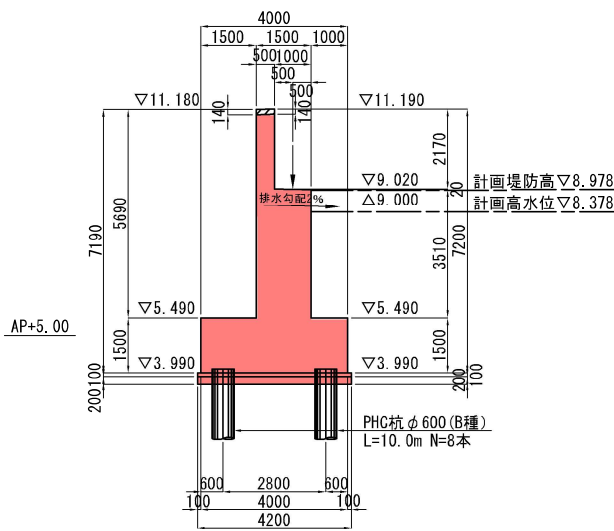
6-6 断面図



3-3 平面図



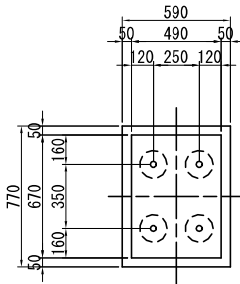
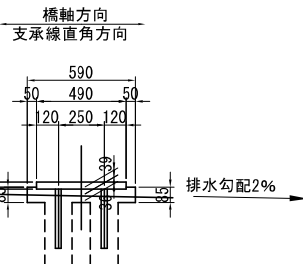
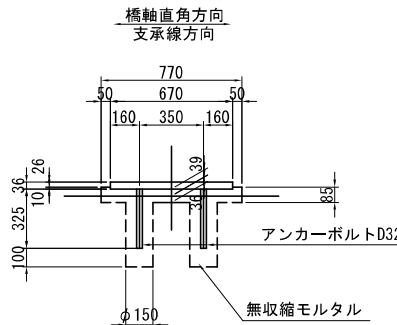
5-5 断面図



支承箱抜き詳細図

S=1:20
(S=1:40)

可動沓



設計条件

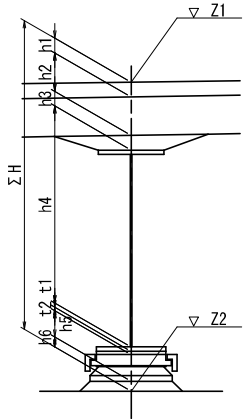
道路構造規格	第3種第5級 V=20km/h
形式	下部工 逆T式橋台
基礎工	PHC杭 φ600 L=10.0m N=8本 中堀工法 (セメントミルク噴出攪拌)
斜角	θ=90° 00' 00"
裏込め土	γ=19kN/m ³ 、φ=30°
地盤種別	Ⅱ種地盤
地域別補正係数	A2地域 (Cz=1.00)
設計荷重	活荷重: A活荷重, 添架荷重: 水道管1条 W=1kN/m
支持地盤	砂質土層 (0ms2-2、N≧30)
使用材料	下部工 躯体、フーチング σ _{ck} =24N/mm ² 均しコンクリート σ _{ck} =18N/mm ² 鉄筋 SD345
基礎工	PHC杭 B種
適用基準	道路橋示方書 (Ⅰ～Ⅴ) 平成29年11月

橋台背面の裏込め土に用いる材料

項目	範囲
最大粒径	100mm
4750μmふるい通過百分率	25～100%
75μmふるい通過百分率	0～25%
塑性指数IP (425μmふるい通過分について)	10以下

※有機質土、火山灰質の細粒度を含む材料を除く。

構造高さ



A1橋台構造高表 (支点上)

	G1	CL	G2
計画高	Z1 11.177	11.200	11.177
舗装厚	h1 0.080		0.080
床版厚	h2 0.260		0.260
ハンチ高	h3 0.080		0.080
桁高(上フランジ含)	h4 1.500		1.500
下フランジ厚	t1 0.036		0.036
ソールプレート厚	t2 0.027		0.027
支承高	h5 0.145		0.145
モルタル厚	h6 0.039		0.039
構造高	ΣH 2.167		2.167
橋座標高	Z2 9.010	9.010	9.010
橋座勾配	横断 LEVEL		
	縦断 -2.00%		

凡例

工種	表示
後打ちコンクリート	

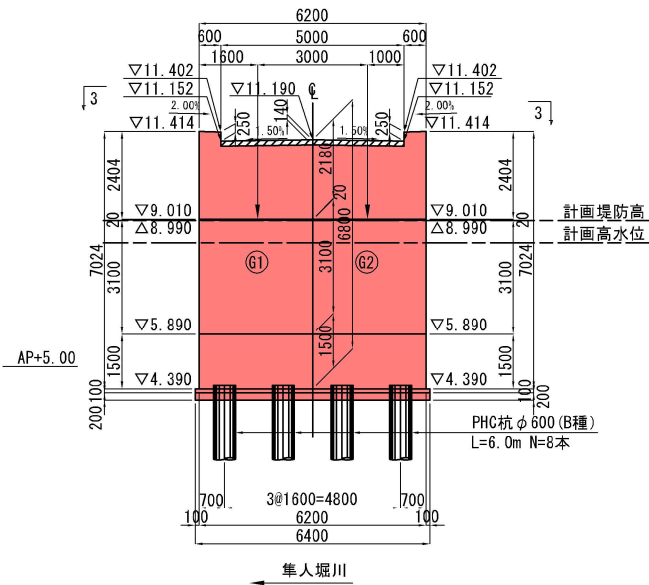
注記 1)カッコ内の縮尺は、A3印刷時を表す。
2)注記なき標高はA.P.を表す。

工事名	橋梁補修工事 (下部工・護岸工・旧橋撤去工)
路線名	河川名
工事箇所	白岡市岡泉地内
図面名	A1橋台構造一般図
縮尺	図示 図面番号

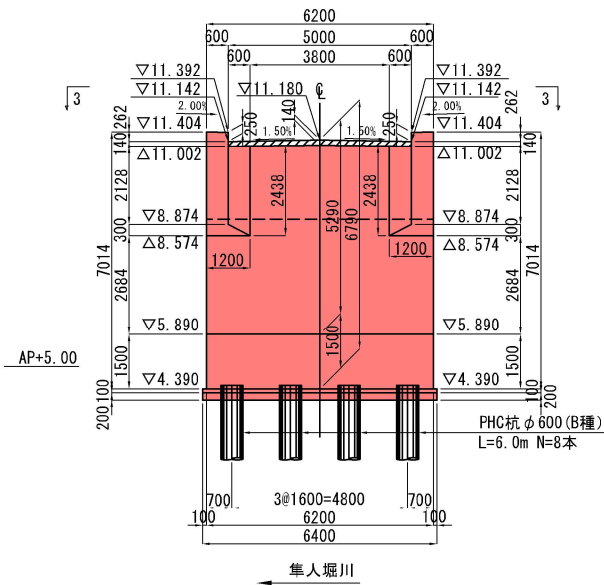
白岡市 都市整備部 道路課

A2橋台構造一般図 S=1: 50
(S=1:100)

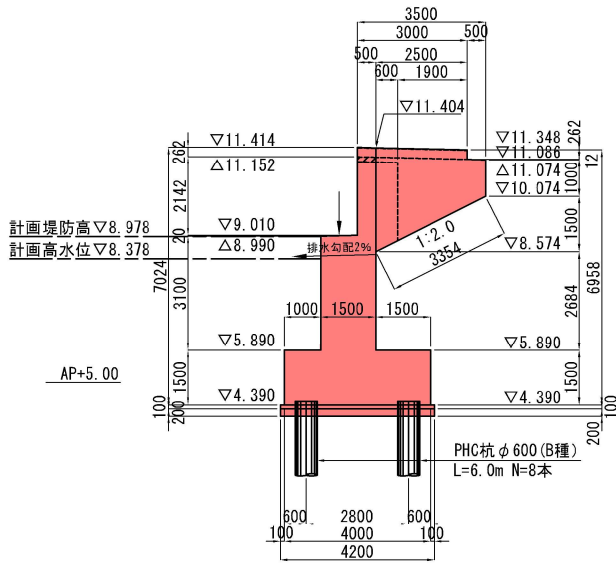
1-1 正面図



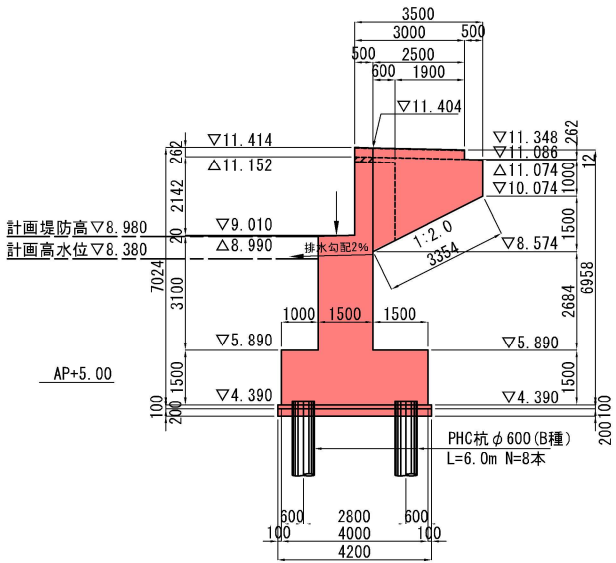
2-2 背面図



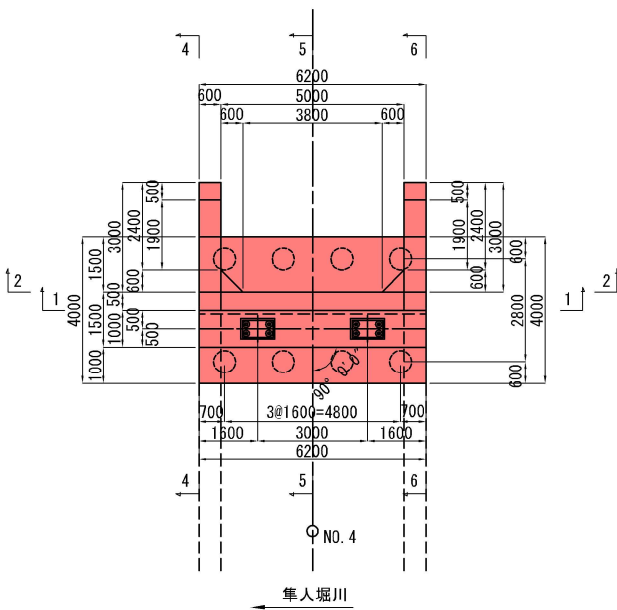
4-4 断面図



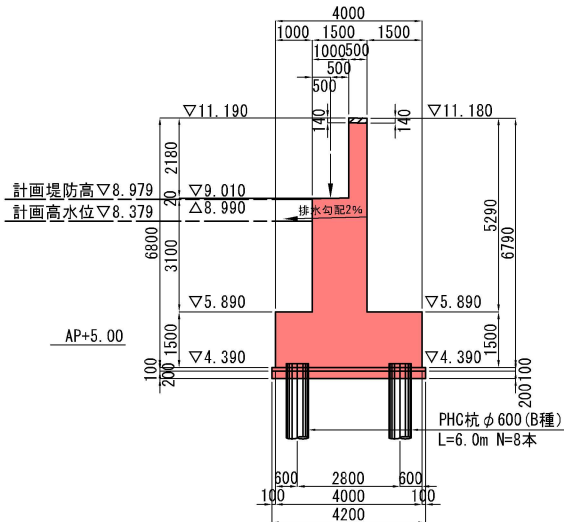
6-6 断面図



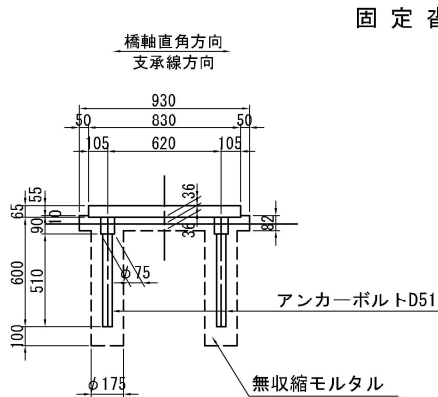
3-3 平面図



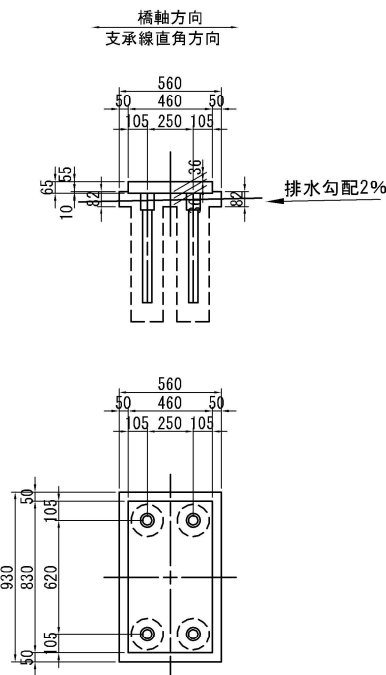
5-5 断面図



支承箱抜き詳細図 S=1:20
(S=1:40)



固定沓



設計条件

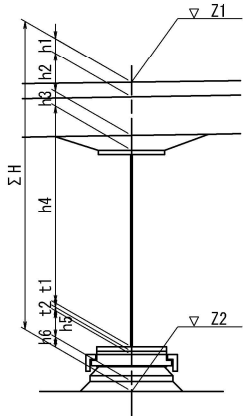
道路構造規格	第3種第5級 V=20km/h
形式	下部工 逆T式橋台
基礎工	PHC杭 φ600 L=6.0m N=8本 中掘工法 (セメントミルク噴出攪拌)
斜 角	θ=90° 00' 00"
裏込め土	γ=19kN/m ³ 、φ=30°
地盤種別	Ⅱ種地盤
地域別補正係数	A2地域 (Cz=1.00)
設計荷重	活荷重: A活荷重, 添架荷重: 水道管1条 W=1kN/m
支持地盤	砂質土層 (0ms2-2、N≧30)
使用材料	下部工 躯体、フーチング σ _{ck} =24N/mm ² 均しコンクリート σ _{ck} =18N/mm ² 鉄筋 SD345
基礎工	PHC杭 B種
適用基準	道路橋示方書 (Ⅰ～Ⅴ) 平成29年11月

橋台背面の裏込め土に用いる材料

項目	範囲
最大粒径	100mm
4750μmふるい通過百分率	25～100%
75μmふるい通過百分率	0～25%
塑性指数IP (425μmふるい通過分について)	10以下

※有機質土、火山灰質の細粒度を含む材料を除く。

構造高さ



A2橋台構造高表 (支点上)

	G1	CL	G2
計 画 高	Z1 11.177	11.200	11.177
舗 装 厚	h1 0.080		0.080
床 版 厚	h2 0.260		0.260
ハ ン チ 高	h3 0.080		0.080
桁高(上フランジ含)	h4 1.500		1.500
下 フ ラ ン ジ 厚	t1 0.036		0.036
ソールプレート 厚	t2 0.027		0.027
支 承 高	h5 0.159		0.159
モ ル タ ル 厚	h6 0.036		0.036
構 造 高	ΣH 2.177		2.177
橋 座 標 高	Z2 9.000	9.000	9.000
橋 座 勾 配	横断 LEVEL		
	縦断 -2.00%		

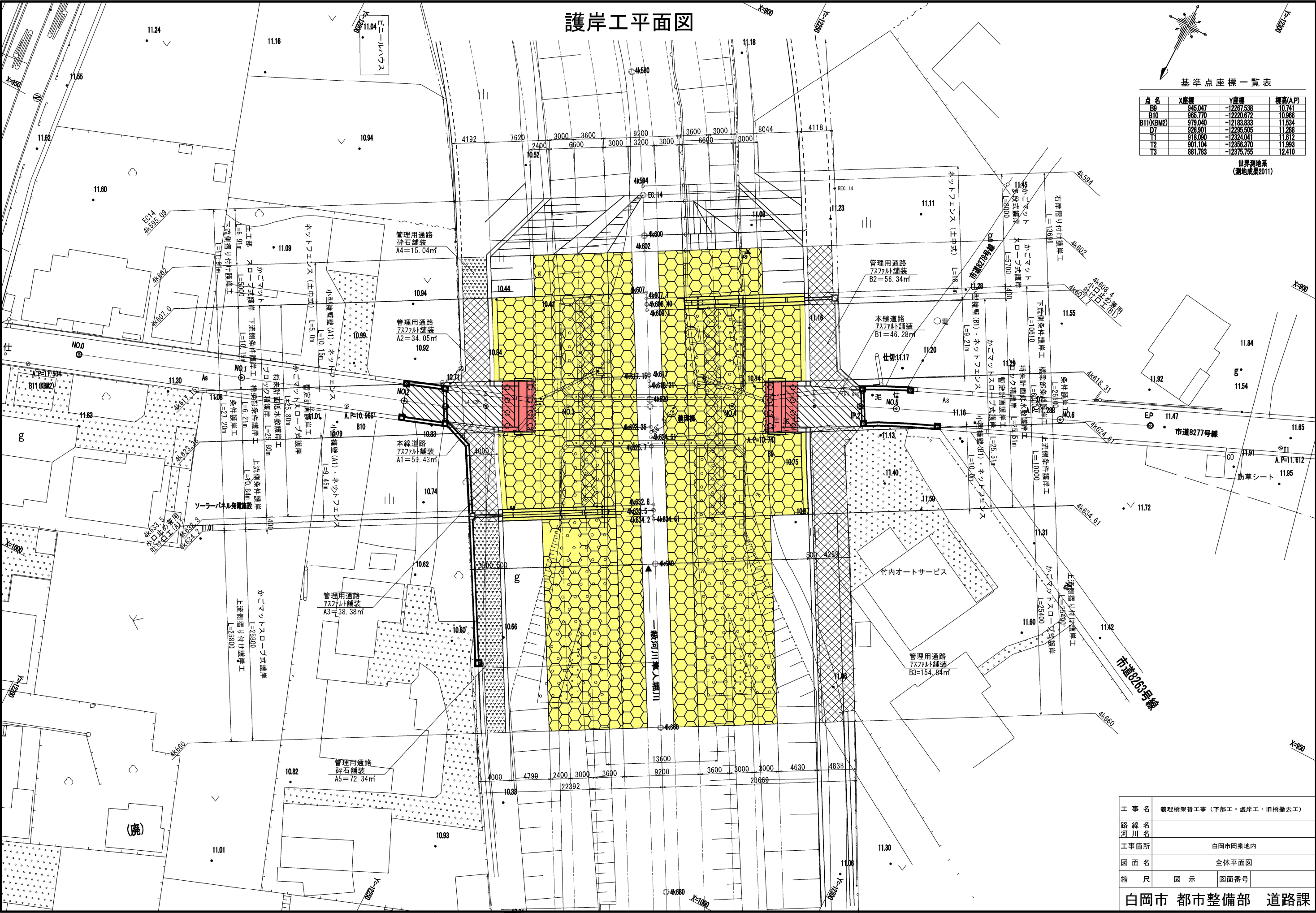
凡 例

工 種	表 示
後打ちコンクリート	

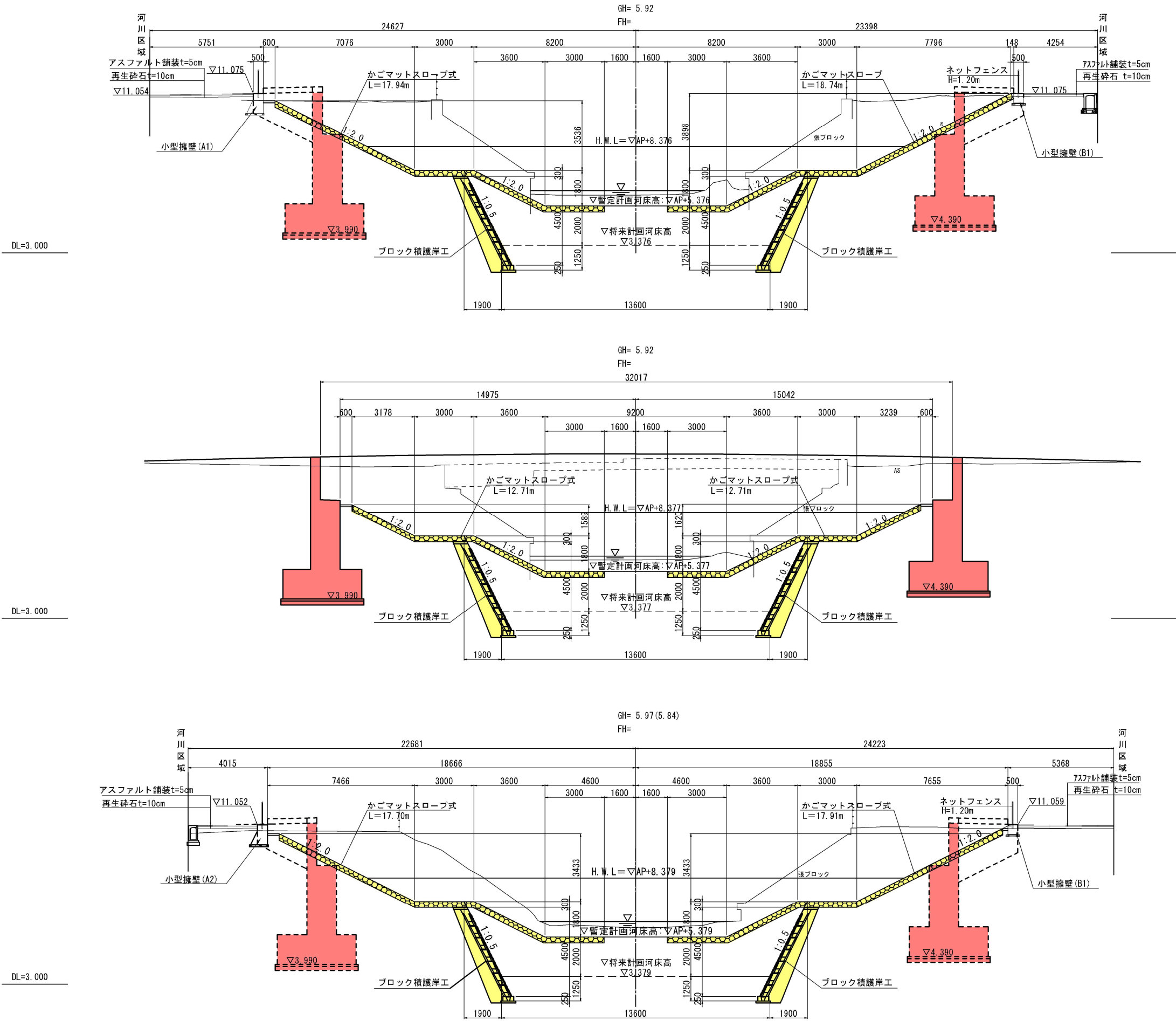
注記 1)カッコ内の縮尺は、A3印刷時を表す。
2)注記なき標高はA.P.を表す。

工 事 名	義理橋架替工事 (下部工・護岸工・旧橋撤去工)
路 線 名	河 川 名
工事箇所	白岡市岡泉地内
図 面 名	A2橋台構造一般図
縮 尺	図 示 図面番号

白岡市 都市整備部 道路課

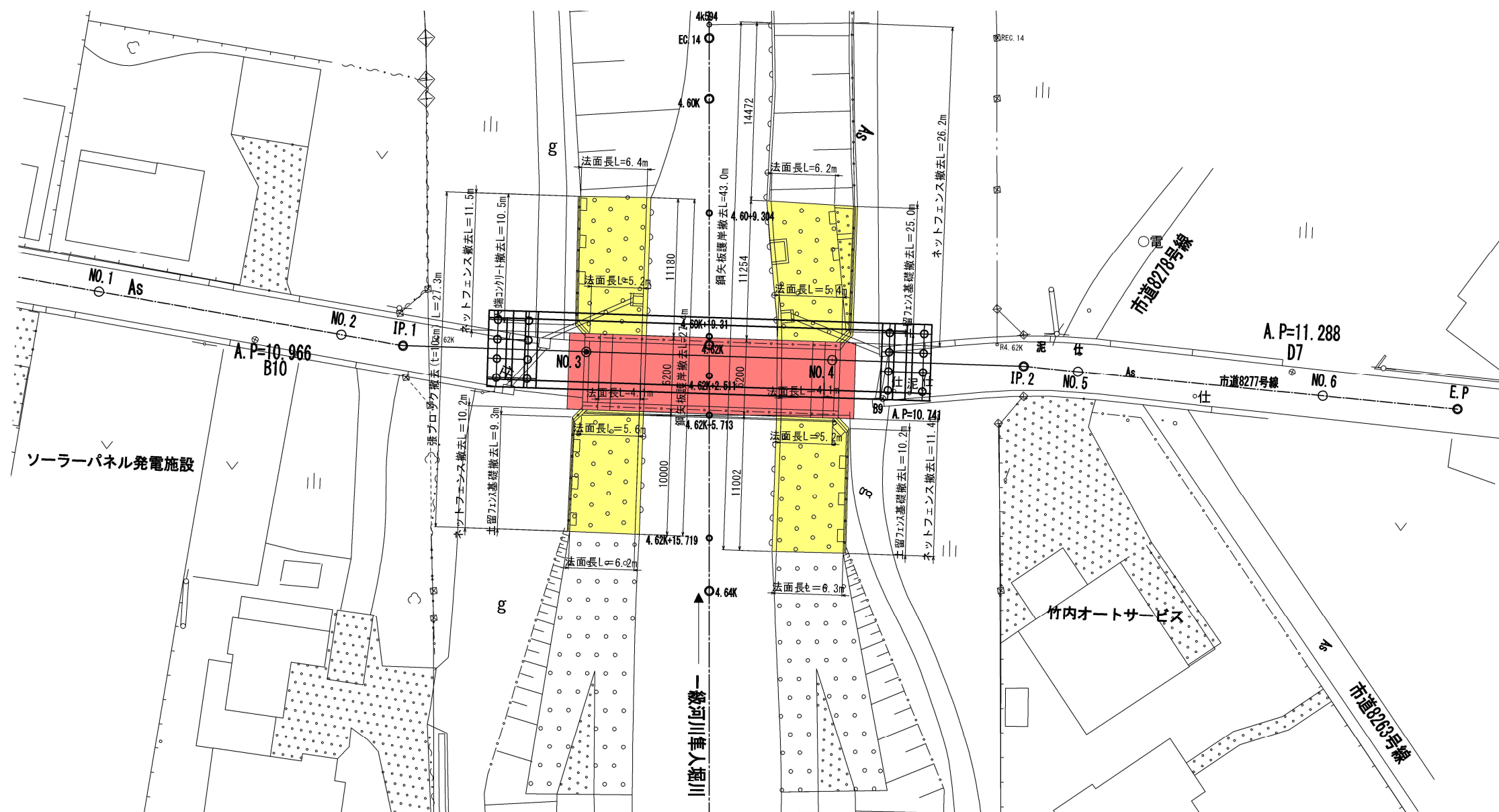


河川横断図

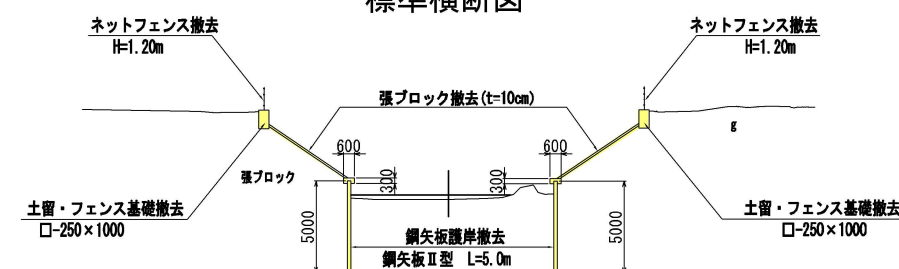


工事名	義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）		
路線名			
河川名			
工事箇所	白岡市岡泉地内		
図面名	河川横断図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	
白岡市 都市整備部 道路課			

旧義理橋平面図



標準横断図



注記 1) カッコ内の縮尺は、A3印刷時を表す。
2) 注記なき標高はA. P. を表す。

工 事 名	義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）		
路 線 名			
河 川 名			
工事箇所	白岡市岡泉地内		
図 面 名	河川構造体撤去計画図		
縮 尺	図 示	図面番号	

白岡市 都市整備部 道路課